

社会福祉法人 八ヶ岳名水会
令和 8 年度 後援会だより (第 38 号)

～人と人との支え合いが 今の歴史に～

後援会会計 北野恵子

皆様こんにちは。初めて「後援会だより」にお邪魔をします会計担当の北野です。

会員の皆様にはいつも後援会を応援していただきありがとうございます。平成 22 年にこれまでの後援会の強化を図ろうと後援会事務局の体制を整えました。長い歴史を作ってきた名水会を支え、利用者さん職員さん達がより良く生活や毎日の活動ができるように、少しでも応援しようという思いが込められていました。

私も会計担当として声をかけていただき、会計の仕事をひとりでされてきた利用者さんのお母さんでもある佐々木さんと一緒に務める事になりました。私も子どもが名水会でお世話になっている保護者の一人です。

後援会の仕事は、星の里や日野春学舎の事務室や会議室等で行ってきました。そのおかげでたくさんの利用者さんや職員さんとお会いする事ができました。私の姿を見つけて「お母さん」と声を掛けて下さる利用者さんや、手を出して握手を求めてくれる利用者さん。職員さん達ともいろいろお話しができるようになりました。

15 年間名水会に通う中で見えてくる事もいろいろありました。特に日々、利用者さんに寄り添い、見守り、支援をして支えて下さっている職員さん達の姿には頭が下がる思いでした。

この夏、グループホームの統合により新しいグループホーム「ぽらりす」が日野春に完成しました。名水会の始まりである「星の里」は創設から 33 年を迎え建物や設備の老朽化が目に見えて進んでいます。「はるのひ・なのはな」の施設も建設から 22 年になりました。

事業に、また追築、改修にと多額の費用が掛かってくる状況が近い将来やってきます。会員の皆様には今後とも変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。保護者の皆様、ご家族の皆様には重ねてご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



＊令和7年度 会計報告＊

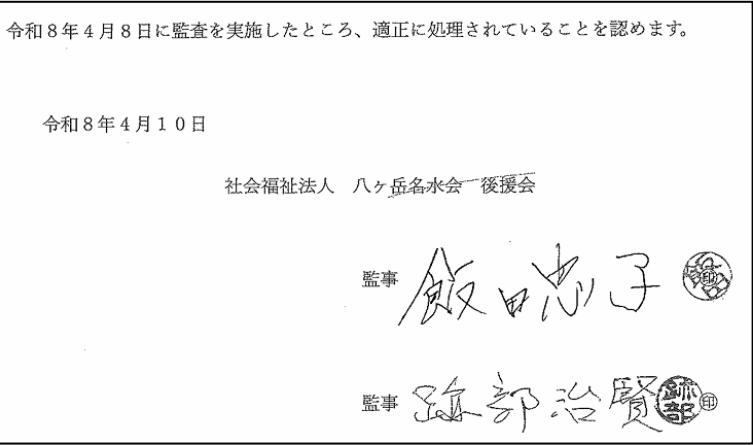
収入項目	金額	支出項目	金額	内訳
会費及び寄附金	1,435,240 円	事務費	80,741 円	切手・印刷代
利息	9,351 円	八ヶ岳名水会寄附	100,000 円	絵画展
		振込手数料	17,722 円	
計（A）	1,444,591 円	計（B）	198,463 円	

収支差額（A-B） 1, 2 4 6, 1 2 8 円

上記収支差額 1,246,128 円は、次年度への繰越金とさせていただきます。

令和7年度繰越金 1,246,128 円を含め、後援会費寄付残高 8,453,791 円を管理しています。

令和7年度の会計監査も行われましたので、報告いたします。



ご寄付をいただいた皆様（敬称略）
（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

相澤 泰	植松 英照	北野 一雄
青木 敬明	遠藤 栄一	木村 輝三
荒木 久仁子	大泉中央診療所	小林 克彦
有賀 早百合	岡部 浩之	小林 稔
アルビス	奥村 久美子	河野 美知子
板山 玉枝	小田川 慶子	合同会社 アプリノ澤海由光
一之宮 ますみ	小野 敬子	興石 務
猪股 文江	小尾 重治	小玉 澄枝
井上 英淑	加藤 由美	小林 昭江
井上 美江子	梶原 善聖	小林 ふたみ
入江 睦美	片山 泰伸	小林 俊子
植松 正秀	菊池 敏明	小松 勝雄
植田 康稔	北野 一好	小松 功一

小宮山 敏文	塚原 富士子	堀内 泰
五味 光明	塚原 将生	本郷 隆之
斎藤 秀人	堤 幸長	真壁 敬子
斉藤 かおる	手塚 邦彦	牧野 政美
三枝 博	手塚 豊彦	丸山 光一
坂本 天地	富島 幸代	三浦 広美
坂本 ちづ子	内藤 誠	三井 春江
坂本 商事	中井 俊機	三井 とし子
佐々木 憲二	中川 直美・栄	（有）宮坂自動車
佐々木 伯	中川 智恵子	宮沢 洋好
澤井 恭子	中嶋 富子	望月 千晶
篠塚 絵美子	中田 澄江	元木 喜代子
篠原 夕生子	縄谷 久美子	矢ヶ崎 真知子
清水 泉	西岡 美紀恵	柳澤 縁
清水 正隆	美容室 Nia	山下 滋夫
清水 俊子	新澤 裕志	山村 陽茂
下里 晴朗	根津 直人	山田 千鶴
白倉 友行	パイの家エム・ワン	山本 未紀子
杉田 正一	羽田 喜代美	山口 佳代子
鈴木 貴美子	花輪 千世子	（株）ユウシステム
鈴木 正洋・はつみ	羽田 喜代美	吉田 早苗
鈴木 伸介	原 吉次	吉岡 明
鈴木 嘉彦	原 まゆみ	吉川 豊子
関口 久江	ビーはっぴい	吉岡 美智子
外田 正成	廣瀬 かほる	吉田 道子
園山 泰恵	藤原 静	渡邊 陽子
高橋 洋子	古屋 けさよ	渡邊 陽一
高村 俊行	古屋 二三男	渡邊 待子
竹川 博・直美	祝 與一郎	渡辺 重孝
橘 幸平	堀口 和哉	



賛助金をはじめ、たくさんのご寄附、
奉仕作業や祭りボランティア、駐車場に砂利を入れてくださった方等、
関わってくださったすべての皆様に、深くお礼を申し上げます。
引き続き、ご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。
ありがとうございました。

後援会員の皆様より頂いた財源（金銭）を活用しました。お知らせいたします。



YAN 山梨アール・ブリュットネットワークセンター
「甲府の街とアートをめぐる『雑踏展』2025」

【一部補助 100,000 円】



山梨県と共催して見内外の障がいの
ある方が制作した芸術上価値の高い作
品を集めた企画展『雑踏展』がR7年
10月11日から10月20日まで行わ
れ、多くの方にご来場いただき、盛大
に開催されました。

関わる作家やボランティアスタッフ
の経費に活用させていただきました。
ありがとうございました。
(撮影：本杉 郁雲)

後援会の規約の中では、目的達成のために八ヶ岳名水会が指向する事業の啓発、地域との交
流を深める各種活動等々が謳われています。

昨年は「みんなで楽しむバリアフリー演劇祭」に、そしてこの度は「甲府の街とアートをめ
ぐる『雑踏展』」に補助させていただきました。災害援助に国境がないように、文化・芸術に
も国境なし、きっと裾野が広がっていくと思っております。(コメント：坂本ちづ子)

防災 備え

そんな矢先のベネズエラ地震

そして 熊本震災・千葉豪雨災害

酷暑、水不足、土砂・浸水…

R7年4月に発行しました、36号では「防災ハウスの設置」「冬季の
火災発生を想定した暖房用薪を保管するための棚作成」「非常時の水源確
保」等の備えについて掲載させていただきました。

今回は、地元とのつながりから、地域連携推進会
議等の発足や参加に伴い、さらに安全強化の活動
として「災害時用のトイレの設置」を2基、いざ
という時に迷わないよう案内用看板の設置、ボラ
ンティアによる湧水周りの整備を行いました。



寄稿文

「小荒間防災の現状と課題」

小荒間の地域の防災を考える会
八ヶ岳名水会後援会 事務局長
清水康男

災害に対して配慮を要する立場にある皆様の安全確保に、法人でも後援会でも取り組んでいま
す。今日は、地域との連携をご紹介いたします。

近年の台風や線状降水帯によるゲリラ豪雨は全国各地で毎年人命を伴う甚大な被害を発生させ
ております。

当地域は、小荒間の災害史のとおり、明治2年(1765)8月の山岳崩壊を始め、特に明治
31年(1898)9月の台風による豪雨で八ヶ岳が崩壊、小泉村の高川・古杣川が土砂を伴って増
水し田畑の流亡、土砂の押入10数町歩、死者4名の被害をこうむりました。

更には昭和18年(1943)9月権現岳を中心とした集中豪雨で山岳崩壊、土石流が高川・古
杣川沿岸を南東に奔流し小荒間、大井ヶ森では田畑数町、橋梁を流失、小海線高川鉄橋も流失、
三分一湧水も埋没、死者1名とあります。小荒間は地名のごとく過去数多の災害に見舞われてき
た地域であります。(小荒間=アレマ)

こうした中、平成18年2月高川・古杣川が、山梨県の「土砂災害特別警戒区域」に指定さ
れました。

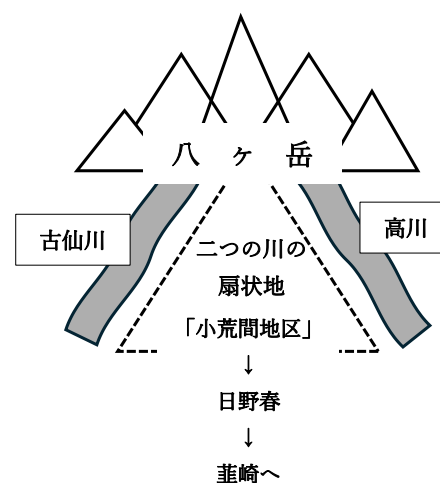
当小荒間地域でも過去のような土砂災害が更には想定外が襲来することを、区民を始め住民
が憂い、地区として市や県に要望書を提出している次第です。しかし、中々解除されない中で切
実な声を届けようと、住民の任意の会「小荒間地域の防災を考える会」を設立したのでありま
す。

令和6年4月には、小荒間にある三福祉法人(八ヶ岳名水会、愛寿会、みどりの風)、一団
体(株・アルプス(三分一湧水館))にもご加入いただきました。

会としては、高川、古杣川の土砂災害特別警戒区域の指定解除が一日も早く実現するよう
に、窓口であります小荒間行政区の応援団として、会員一同少しでも地域の安全安心に貢献でき
たらとの思いで現状調査や防災減災勉強会等を計画し実施しているところであります。

この度、令和8年7月には、一日も早く対応していた
だくべく、当会4団体、ならびに個人会員名をそえて、市
や県へ要望書を提出した次第です。

防災をわがこととして捉え、安全・安心に暮らせる地
域づくりの為に、前述の設立要旨等々ご理解いただき、願
わくば皆様も個人会員として参画していただければ幸いです。



参考文献「小荒間の災害史」(郷土資料館)
「大地の作りから災害を考える」(内藤久敬)

広報誌「虹いろ」の題字募集！



八ヶ岳名水会広報誌「虹いろ」の題字を募集しています。

＊文字の大きさ、素材(鉛筆・墨・クレヨン・はり絵・布…etc)は一切問いません。

＊好きなものを使って、個性豊かに表現してください。

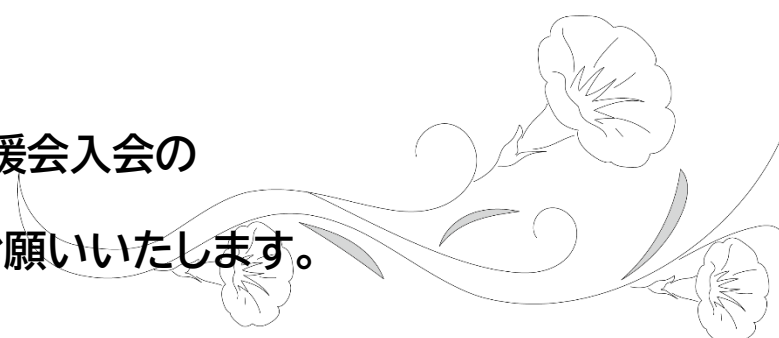
＊大きさは、今までのものを参考にいただき、横書きで。

多くの皆様のご応募を心よりお待ちしております。



八ヶ岳名水会 後援会入会の

お誘いをお願いいたします。



〔年会費〕

賛助会員様(個人・団体様) 1口 1,000円

特別会員様(法人様) 1口 10,000円

(1)口数は自由ですので、多くの皆様のご協力をお願い致します。

(2)会員の皆様には、八ヶ岳名水会広報誌「虹いろ」、

八ヶ岳名水会「後援会だより」を定期的にお送りいたします。

〔振込先〕 いずれかの振り込み方法からお選びください。

社会福祉法人 八ヶ岳名水会 後援会

・郵便振り込み口座 00440-5-13019

・銀行口座・ゆうちょ銀行

ゆうちょ銀行からお振り込みの場合:記号 10820 番号 5190771

ゆうちょ銀行以外からお振り込みの場合:店名 0 八八 店番 088 番号 0519077

お問い合わせ
社会福祉法人 八ヶ岳名水会 後援会事務局
〒408-0025
山梨県北杜市長坂町長坂下条1237-3
電話:0551-32-0035
Fax:0551-32-6351

